令和6年度 第1回鹿角市地域公共交通活性化協議会 議事録

開催日時 令和6年6月21日(金) 13時30分～14時20分

開催場所 鹿角市役所 第1～2会議室

出席委員 委員数20名中19名(うち代理出席3名)

- 協議内容
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 議事
 - (1) 令和5年度事業報告及び収支決算について(資料1)
 - (2) 生活路線バスの運行減便等について(資料2)
 - (3) 令和7年度地域公共交通計画(地域内フィーダー系統)認定申請(案)について(資料3)
 - (4) 令和6年度版鹿角市路線バス時刻表の作成について(資料4)
 - (5) 八幡平地区における持続可能な公共交通サービスの構築について(資料5)
 4. その他
 5. 閉会

司会 只今より、令和6年度第1回鹿角市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。
本日は、お忙しいところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。
本日の会議は委員20名中、代理を含む19名からご出席をいただいておりますので、本協議会設置要綱第6条第2項に規定する過半数の出席を満たしており、本日開催の協議会が成立することをご報告いたします。

次に、前任者の異動に伴い、新たに委員とられました方をご紹介します。

(委員紹介)

司会 それではお手元の次第にそって、進めさせていただきます。
次第2、会長あいさつについて、本協議会の会長であります舩屋副市長から、ごあいさつを申し上げます。

会長 本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。委員の皆さまにおかれましては、日頃から公共交通の維持・発展はもとより、市政の各般にわたりご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、今年度より新たに委員になられた方におかれましては、ご多用中のところ、お引き受けいただきありがとうございます。

さて、本協議会では、令和4年度に策定した「鹿角市地域公共交通計画」に基づき、市民や来訪者にとって利用しやすく、将来にわたって持続可能な公共交通体系の構築や、公共交通空白地域の住民座談会を開催しながら、地域のニーズに即した利便性の高いサービスの提供を目指すこととし、様々な観点から情報を収集し検討を進めております。

近年、人口減少に伴う利用者の減少や、運転士不足などの影響から路線バスの減便やデマンド運行への移行など、公共交通を取り巻く環境は依然厳しさを増しております。

今年度、市では、路線バス利用助成事業として、路線バスフリー定期券補助や交通弱者対策補助の拡充など、利用者の負担軽減を図り、公共交通の利用促進に努めているところであります。

引き続き、委員の皆さまより幅広い観点から公共交通のあり方について議論いただきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

本日の案件は、令和5年度事業及び収支決算の報告、国庫補助に関する地域公共交通計画の策定、路線バス時刻表（案）などとなりますが、本市の公共交通がより良い方向に発展するよう、どうか忌憚のないご意見をいただきますようよろしくようお願い申し上げます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

司会 ありがとうございます。

ここからの進行は、協議会設置要綱第6条第1項の規定に基づき、会長が議長を執り行うこととなっておりますので、舩屋副市長より以降の進行をよろしくお願いいたします。

会長 それでは議事に移ります。

(1) 令和5年度事業報告及び収支決算について事務局より説明願います。

事務局 (資料に沿って説明)

会長 監査委員より監査報告をお願いします。

阿部委員 (監査報告読み上げ)

会長 ありがとうございます。

事務局より説明のありました令和5年度事業報告及び収支決算について、ご質問等ありましたら発言願います。

(質疑等なし)

会長 それでは、令和5年度事業報告及び収支決算について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

会長 それでは、令和5年度事業報告及び収支決算については、承認いたします。
次に（2）生活路線バスの減便運行等について事務局より説明願います。

事務局 （資料に沿って説明）

会長 生活路線バスの減便運行等については、事業者との協議を経ているため報告案件となりますが、ご意見、ご質問等ありましたら発言願います。

棚谷委員
代理
工藤委員 秋北バス工藤です。事務局の説明に補足いたします。
ただいま事務局からもご説明がありましたように、10月1日より、市内を結ぶ2路線について減便いたします。背景としましては、慢性的な運転手不足及び収支改善が目的となっております。運転手不足は以前から説明しておりますが、賃上げや希望に沿った勤務体系等導入しておりますが、抜本的な改善にはいたっておりません。また燃料費の高騰や処遇改善による人件費の関係で、財政的にさらに厳しい現状となっております。こうした現状の中、今後抜本的な解決は難しいとの判断から、今回の減便となったところです。
なお、今回の減便については、乗車率の高い便は維持しているため、ご理解いただきますようお願いいたします。

会長 ありがとうございます。
ただいまの補足説明について、ご質問等ありましたら発言願います。
ないようですので、事務局においては市民周知をお願いします。
次の議事に移ります。
（3）令和7年度地域公共交通計画（地域内フィーダー系統）認定申請（案）について、事務局より説明願います。

事務局 （資料に沿って説明）

会長 事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等ありましたら発言願います。

（質疑等なし）

会長 それでは、令和7年度地域公共交通計画認定申請（案）について、このとおり承認してよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

会長 それでは、令和7年度地域公共交通計画認定申請（案）について承認いたします。
次の議事に移ります。
（4）令和6年度版鹿角市路線バス時刻表の作成について、事務局より説明願います。

事務局 (資料に沿って説明、資料の時刻表は第1校のもの)

会長 事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等ありましたら発言願います。

事務局 (質疑等なし)

会長 それでは、説明のあった時刻表第1校について、作成することと決定いたします。委員の皆さまにおかれましては、今後気づいたことがありましたら、事務局に連絡願います。
次に(5)八幡平地区における持続可能な公共交通サービスの構築について事務局より説明願います。

事務局 3月に開催した地域公共交通活性化協議会におきまして、令和6年度の事業計画として、交通事業者をメンバーとするワーキンググループを開催しながら、将来的な地域公共交通のあり方などを検討していくことを報告しておりました。
新年度を迎え、ワーキンググループの開催に向け準備をしていたところ、秋北バス株式会社より、八幡平地区において運行しております、八幡平大環状線と志張線の2路線について、現状の方式のままの運行では赤字の解消が困難であるため、コミュニティバス等への早期移行について検討していただきたいとの申し出がありました。
このため、これまで行ってきておりました、ワーキンググループでの話し合いについて、一段階レベルを引き上げ、今年度は八幡平地区における持続可能な公共交通サービスの構築について、スピード感を持って取りまとめ行っていきたいと考えております。
路線バスを取り巻く環境につきましては、年々厳しくなっており、コロナによる影響を引きずったまま、燃料費等の上昇の影響や、運転手不足が重なったことで、昨年10月には秋田県内で16路線が廃止されるなど、大変厳しい状況であります。
八幡平地区の2路線につきましては、運行距離が長い割には乗車人数が少ない赤字路線となっており、これまで土日の運行を取りやめるなど、赤字縮減に向けた取り組みを進めてきたところではありますが、昨今の燃料費等の物価高騰の影響や、運転手不足などから、赤字路線を継続していくことが会社として厳しい状況となっており、この2路線についてできるだけ早い段階でコミュニティバスなどへ移行していただくことで、経営改善につなげていきたいとの申し出であります。
何の手当もないまま路線バス2路線が廃止となってしまうと、大変大きな公共交通空白地域を生み出してしまうことから、市としては、空白地域を生み出さないよう、路線バスの代替えとなる交通サービスの構築を目指したいと考えております。
昨年路線バスが廃止となった大館市の田代地区においては、ワゴン車によるコミュニティバスが運行されたほか、4路線が廃止となった能代市においては、AIを活用したオンデマンド方式でのジャンボタクシーが運行するなど、路線バスの代替えとなる交通サービスが構築されております。
八幡平地区においても、路線バスの代替えとなる、持続可能な公共交通サービスの構築

を目指し、再編案を取りまとめたいと考えております。できるだけ早い段階での再編を目指すため、令和7年10月からの再編を目標に定めながら、交通事業者や地域の方々と意見交換などを行い、再編案の取りまとめていきたいと考えております。

会長 事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等ありましたら発言願います。

松原委員 東北運輸局秋田運輸支局松原です。
現在の路線バスから新たな公共交通サービスの移行時期について、具体的に決まっているのでしょうか。

事務局 再編成案の目途が立ちましたらスムーズに移行できるようにしたい考えであり、現在、時期は明示しておりません。

渡部委員 鹿角市教育委員会総務学事課の渡部です。
スクールバス路線等の利用もあると思いますが、どのようにお考えでしょうか。

事務局 今後教育委員会と協議を進めていきますが、公共交通を活用してもらえよう進めていきたい考えです。

会長 他にございませんか。
ないようですので、事務局においては、今後地域住民への丁寧な説明に配慮するとともに、委員の皆さまからも引き続きご協力いただきますようお願いいたします。
次に、4 その他 ですが、議事以外のところで、委員の皆さまより情報提供等ありましたらお願いいたします。

金澤委員 鹿角市産業活力課の金澤です。
志張温泉と八幡平山頂間を結ぶ自家用有償旅客運送の進捗状況について、説明させていただきます。

前回の協議会において、今年7月からの運行開始を目指すと説明していましたが、8月以降の運行開始へと変更をしております。

運行を担う、NPO法人コンビゴーレ八幡平ですが、法人登記は完了しており、現在は、運輸支局さんに自家用有償旅客運送の許可申請を行う段階にありますが、その前段において運転手予定者が講習を受ける必要があります、講習会の日程上、まだ受講できていない状況にあると伺っており、このことから8月以降へと変更したものです。

運輸支局さんには、ご指導をいただいておりますこと、また、十和田タクシーさんには、八郎太郎号を山頂までもうしばらくの運行継続にご同意いただいたことなど、皆さまに感謝申し上げますとともに、引き続き無事に運行が開始できるようコンビゴーレ八幡平さんに支援してまいりますので、よろしくお願いいたします。

会長 ありがとうございます。
 ただいまの説明について、ご意見、ご質問等ありましたら発言願います。

会長 私から質問なのですが、運行開始が8月以降となるとのことですが、運賃等についてはこれから決定するのでしょうか。

金澤委員 運賃につきましては、現段階では、志張温泉から大沼間が500円、大沼から山頂間が500円となっており、志張温泉から山頂までご乗車いただくと1,000円となっております。

会長 ありがとうございます。
 8月以降の運行ということで、詳細が決まりましたら周知願います。
 委員の皆さまから、他にご連絡事項はございませんか。

佐藤委員 秋田県交通政策課の佐藤です。
 この場をいただきまして、路線再編に係る支援施策についてご紹介します。バス利用者及び乗員不足により、事業者路線の維持が難しくなっていることから、県内各地域において、減便や縮小が進んでいる中、これまで以上に路線再編の必要性が高まっております。

事務局 県としては、コミュニティ交通等への再編をより円滑に進められるように支援していきたいと考えております。継続事業としましては、事業者路線からコミュニティバスへ再編する際の実証運行経費を助成する「コミュニティ交通再編促進事業」に加え、令和6年度からの新事業として、コミュニティ交通の導入・改善に対する支援を実施する予定です。

 新規事業につきましては、自家用有償旅客運送、乗合タクシー導入、キャッシュレス決済導入及びバスロケーションシステム導入等幅広い取り組みへの支援を予定しており、公募の準備が整い次第、各市町村にご案内します。

 県では、4月に国の制度活用検討会を開催したところであり、あらゆる交通手段を組み合わせ、地域公共交通の維持確保を図る必要があるため、検討会実施の他、随時東北運輸局秋田運輸支局様とも協力し、各地域の取り組みを支援したいと考えておりますので、お気軽にご相談ください。

会長 ありがとうございます。
 事務局においては、八幡平地区の公共交通サービスの構築について、県の制度を活用しながら進めていくようお願いします。

 他に委員の皆さまから、連絡等はございませんか。
 ないようですので、事務局から連絡等あればお願いします。

事務局 次回の開催につきましては、先ほどご説明しました八幡平地区の再編の方向性について、委員の皆さまからご意見をいただきたいと考えております。開催時期につきましては10月ごろを予定しております。

また、現在国土交通省から助言をいただきながら、運賃協議会の設置を進めております。運賃につきまして、これまで地域公共交通活性化協議会の中で協議してきたところですが、独占禁止法のカルテルに該当する疑義を生じさせないよう、活性化協議会とは別に運賃協議会を設置し、運賃を協議するものとなります。運賃協議会につきましても、活性化協議会委員の皆さまから委員となっていただきたいと考えており、開催については活性化協議会と同日になるよう配慮いたします。今後、運賃協議会委員の委嘱等について、ご案内することもありますので、ご理解とご協力をお願いします。

会長 ただいまの連絡について、市内全般の運賃を決める協議会となるのでしょうか。

事務局 例えば、新たに乗合タクシーを運行させる場合、運行区域等は活性化協議会で協議できますが、運賃につきましては、運賃を定めようとする事業者の他に、他の交通事業者が関わってはならないものとなっているため、運賃協議会を設置するものです。

松原委員 東北運輸局秋田運輸支局松原です。私から補足説明いたします。
活性化協議会にて運賃を協議していたところですが、活性化協議会では、様々な事業者が関わっており、その中で運賃を決定するのは独占禁止法に抵触するのではないかという指摘がございました。国でも、活性化協議会のような場では、運賃の議論をしてよいが決定してはならないといった旨の法改正がなされたため、最終的な運賃の決定は、運賃協議会にて、運行しない事業者様が参加しない中で決定することとなりました。そのため、各自治体において運賃協議会の設置が進められております。

会長 自家用有償旅客運送等についても、この制度の対象となるのでしょうか。

松原委員 今回の運賃に関するものは、道路運送法第4条にて許可を受けた事業が対象となるため、市町村が登録する自家用有償旅客運送は対象外となります。

ありがとうございます。
他に委員の皆さまから、ご意見、ご質問等ありましたら発言願います。
ないようですので、本日の議事はすべて終了とし、事務局にお返しします。

事務局 ご協議いただきありがとうございます。
以上を持ちまして、令和6年度第1回鹿角市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。本日は、誠にありがとうございました。